

CAMARO Giovanna Edition

メーカー・メイド。

Text: Photo: 橋本佳史 / Yoshitune / SHOOTING STAR

Equipment

WHEELS: Giovanna MONZA
(F22×9J R22×10.5J)
TIRES: YOKOHAMA PARADA Spec-X
(F255/35-22 R285/30-22)
SUSPENSION: PEDDERS SUSPENSION
INTERIOR: Giovanna Edition Original



正規ディーラーが手がけるコンプリートカマロは、アメリカで人気のジオバンナを22インチという大口径ながら余裕で履きこなし、PEDDERSの革高調整式サスペンションと共に絶妙なマッチングを図る。その他にもオリジナルフェューエルドアをはじめ、スカッフプレートやヘッドレストなどプライズなアイテムを装備。このジオバンナエディションのカマロは「キャデラック・シボレー国立店」でのみ入手できるプレミアムな1台だ。



1 960年代に一世を風靡した初代モデルが登場して以来、半世紀以上に渡ってマッスルカーの代名詞的存在として君臨するシボレー・カマロ。原点回帰を図った現行モデルでは、ネオクラシカルなフォルムがここ日本の地でも人気を博している。

そんな現代のマッスルカーをベースに独自のカスタマイズを施し、コンプリートカーとして仕立て上げたのが正規ディーラーのキャデラック・シボレー国立店だ。その名も「シボレー・カマロ ジオバンナエディション」は、ネーミングが示すとおりジオバンナ製ホイールを前面に押し出したアメリカナイズ仕様。大径ホイールトレンドの立役者である、名門ブランドのアイテムを用いてモータージャーナリストの九島辰也氏がプロデュースを手がけたものである。

ちなみに今回紹介する車両では、2ベース構成のアルミ铸造モデルながら極限までライトウェイトを追求したモンツァをセット。グラファイトグレーのデュアルスポークをバランス良く配置し、クロームステンレスのスティールリップでフィニッシュ。見事、スポーティなルックスにラグジュアリーなテイストを加味することに成功した人気モデルだ。

その他、ジオバンナエディションならではのマテリアルとしては、外装にSSエンブレムやクロームのボウタイエンブレム、ブラック&ポリッシュ仕立てのフェューエルドアなどを装備。ボディ中央でマッスルを主張するGTラインも、メーカーオプションよりも細目のデカールでスタイリッシュさを強調している。

また、内装に関してはジオバンナエディションを強烈にアピールするスカッフプレート&フロアマット、そしてオレンジの刺繍が際立つオリジナルヘッドレストでワン&オンリーを主張しているのだ。

これら魅力的なカスタムが施されているながら、ジオバンナエディションはGM日本の公認も獲得。大手を振って乗り回せる合法コンプリートカーである。📍